

第2回三重県住生活基本計画策定懇話会 議事概要

令和3年11月18日(木)

午前10時から12時まで

1 懇話会

(1) 情報提供（独立行政法人都市再生機構による取組紹介）

【主な意見等】

- 高齢者の住み替え等の相談先が三重県ではほとんどないが、URでは住み替えの相談にも応じているのか。
→ 生活支援アドバイザーが、URの別の住宅について相談に応じている。
- 健康サポート住宅で、福祉住宅改修もされているが、この中に緊急の通報装置は含まれているのか。
→ 住戸内に動きを感知するセンサーを設置し、設定条件により通知されるサービスを有料で提供している。
- URは、公営住宅の団地再生の支援はされているか。URの取組は進んでいるが、公営は遅れているため、特に小規模自治体を支援して頂けると有難い。
- 南海トラフ地震が発生すると、南の方の小さな市町は自力復興が困難と思われるため、その際はコンストラクションマネジメント契約を含めた支援をお願いしたい。

(2) 懇話会委員意見に対する次期県計画への対応・反映等について

(3) 「三重県住生活基本計画」（中間案）について

(4) 意見交換等

【主な意見等】

- 幅広い範囲を扱うことになり、いろいろ整理されたがためにすわりの悪さが目立っている部分がある。それぞれの施策に対し、一つの指標とまとめるのには無理があるのではないか。
- 例えば、「魅力ある地域とする」の指標として「移住者数」から「住み続けたい県民の割合」に変えたことで、現県民の意向のみの指標となり、矮小化につながっている。難しいところだとは思いますが。
- 1つの指標に対して複数の目標に対応するものとして、例えば、主に対応するものは太線で明示、サブで対応するものは点線で表示するといった表現にすることで委員から出された意見に対応可能と思うが、最終案までに検討してほしい。

- 配布の概要資料はあくまでも委員会の説明用としての表現として直線的でアンバランスが顕在化しているが、実際の本文上は、目標～指標の明確なラインが見えないので、少しぼかしてまとめるという方法も考えられる。
- 概要説明で、課題を12示してもらっているのに対し、本文(資料3-2)では「住宅」と「居住環境」に分けている。ただ、この分けた整理が、その後の本文上、効いてきていない。このため、「住宅」、「居住環境」の分類はなくしても良いように思う
- 個人的には、課題は「住宅」と広く「まち」に分けておいた方が分かりやすいかなと思うが、計画内では、混ざってくるため、それぞれの本文の説明の場面で注意書きができれば、とも考える。
- 計画が完成して、見やすさ、わかりやすさが重要。一般の方が読むことに配慮する必要がある。
- 感じたこととして、立地適正化計画やコンパクトシティは重要だと認識しているが、かえって規制が強くなると、移住促進が進みにくくなる。
- 画期的なDXやワーケーションについても具体的な記載がほしい。住みよい暮らしには移動手段が欠かせないため、無人タクシーや物流などで先進的な取組があればと思う。
- 移住促進の面でいうと、市町の役割が重要である。空き家の利活用も移住政策と密接に関連するが、空家等対策計画も市町が策定するものであるため、県としては支援する立場としてできることを記載するしかない。
- DXは定義が広い。個人的にはデータサイエンスが非常に重要。これまで経験と勘に頼っていたものをデータを根拠に住宅政策を進めてもらいたいと考えている。
- 「目標」—「基本的施策」—「指標」との並びに違和感を感じる。並び順として、(大目標)—(中目標)「指標」—「基本的施策」とした方がよいのではないか。指標は複数あった方が良い。
- 様々な施策について高齢者につなげやすい窓口がほしい。
- 「3-1」で県・国・市町・住宅関連事業者・県民の役割が整理されたあと、「3-2」で「地域ごとの取組方法」として「地域」という用語が出てきて戸惑う。「地域」という主体がないなかで、「地域ごとの取組」は誰がやるのか、不明瞭で、どうつなげる

かが難しく思う。役割分担に関する一文がどこかにあれば、つなげられるようにも思う。

- 「住まい」の定義（「住宅」と「居住環境」との関係）があいまいな気がする。「住宅」に関する記述で「住まいづくり」という用語が出てくると、狭い範囲を対象に広い範囲の対応が出てくるのはおかしい。
- 「住生活」と「住まい」の用語の使い分けが不明瞭に混在している。第1・2章では「住生活」、第3章では「住まいづくり」という記載がある。
- 内容は固まってきているので、最後、用語の使い方等について詰めてもらいたい。
- 中間案 P8 の「これまでの取組成果」として現行計画に対する成果等の記載があるが、太字で書かれている現行計画の基本方針が唐突に出てくるのは違和感もある。
- 「これまでの」ではなく「現在の」計画における、という説明がほしい。表現を修正してほしい。
- 懇話会は5年ごとの見直し時のみ開催されるが、これだと見直しに対する十分な時間が取れないため、進行管理も含めて、毎年1回程度開催した方がよいと思うので検討してほしい。都市マスは、審議会で毎年確認したりしている。

2 その他

今後のスケジュール

3 閉会

以上